

国土交通省の業務等の概要

1. 国土交通省の所掌する業務の概要

国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのための社会資本の統合的な整備、交通政策の推進、気象業務の健全な発達並びに海上の安全及び治安の確保を図ることを任務とし、この任務を達成するために必要な事務をつかさどる。

2. 国土交通省の会計間の財政資金の流れ

以下のとおり、一般会計から各特別会計への繰入を行っている。

- ① 道路整備、治水、港湾整備、空港整備の各特別会計の事業に要する経費の財源の各特別会計への繰入
- ② 自動車検査登録特別会計における自動車重量税の納付の額の確認等の事務に要する経費の財源の同特別会計への繰入
- ③ 都市開発資金融通特別会計における都市開発資金貸付金の財源の一部に充てるための同特別会計への繰入

3. 歳入歳出決算の概要

(1) 一般会計

① 歳入

平成 18 年度における国土交通省主管歳入予算額は、51,249 百万円であって、その内訳は当初予算額 37,126 百万円、予算補正追加額 14,148 百万円、予算補正修正減少額 25 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 49,919 百万円であって、差引き 1,330 百万円減少した。

② 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 7,676,526 百万円であって、その内訳は歳出予算額 6,748,113 百万円（当初予算額 6,360,491 百万円、予算補正追加額 466,430 百万円、予算補正修正減少額 14,531 百万円、予算移替増加額 111,787 百万円、予算移替減少額 176,064 百万円）、前年度繰越額 928,412 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 6,738,153 百万円、翌年度繰越額は 890,350 百万円、不用額は 48,022 百万円である。

(2) 自動車損害賠償保障事業特別会計

① 保障勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、70,698 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 70,969 百万円であって、差引き 270 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は歳出予算額 8,033 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 7,313 百万円、不用額は 719 百万円である。

②自動車事故対策勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、16,563 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 15,886 百万円であって、差引き 676 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は歳出予算額 16,563 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 15,653 百万円、不用額は 909 百万円である。

③保険料等充当交付金勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、90,867 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 81,395 百万円であって、差引き 9,471 百万円減少した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は歳出予算額 90,867 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 80,793 百万円、不用額は 10,074 百万円である。

(3) 道路整備特別会計

① 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、3,915,785 百万円であって、その内訳は当初予算額 3,724,279 百万円、予算補正追加額 193,172 百万円、予算補正修正減少額 1,665 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 4,786,556 百万円であって、差引き 870,770 百万円増加した。

② 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 4,944,873 百万円であって、その内訳は歳出予算額 3,915,785 百万円（当初予算額 3,724,279 百万円、予算補正追加額 193,172 百万円、予算補正修正減少額 1,665 百万円）、前年度繰越額 988,982 百万円、特別会計予算総則第 12 条第 6 項の規定による経費増額 40,105 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 3,877,272 百万円、翌年度繰越額は 1,019,137 百万円、不用額は 48,463 百万円である。

(4) 治水特別会計

① 治水勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、1,041,036 百万円であって、その内訳は当初予算額 978,739 百万円、予算補正追加額 64,467 百万円、予算補正修正減少額 2,169 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 1,259,248 百万円であって、差引き 218,211 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 1,339,766 百万円であって、その内訳は歳出予算額 1,041,036 百万円（当初予算額 978,739 百万円、予算補正追加額 64,467 百万円、予算補正修正減少額 2,169 百万円）、前年度繰越額 270,795 百万円、特別会計予算総則第 12 条第 6 項の規定による経費増額 27,934 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 1,093,530 百万円、翌年度繰越額は 233,848 百万円、不用額は 12,388 百万円である。

② 特定多目的ダム建設工事勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、202,030 百万円であって、その内訳は当初予算額 202,439 百万円、予算補正修正減少額 408 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 238,238 百万円であって、差引き 36,208 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 240,826 百万円であって、その内訳は歳出予算額 202,030 百万円（当初予算額 202,439 百万円、予算補正修正減少額 408 百万円）、前年度繰越額 38,795 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 199,236 百万円、翌年度繰越額は 37,161 百万円、不用額は 4,428 百万円である。

(5) 港湾整備特別会計

①港湾整備勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、328,541 百万円であって、その内訳は当初予算額 323,277 百万円、予算補正追加額 6,298 百万円、予算補正修正減少額 1,034 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 366,988 百万円であって、差引き 38,447 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 377,957 百万円であって、その内訳は歳出予算額 328,541 百万円（当初予算額 323,277 百万円、予算補正追加額 6,298 百万円、予算補正修正減少額 1,034 百万円）、前年度繰越額 47,351 百万円、特別会計予算総則第 12 条第 6 項の規定による経費増額 2,064 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 332,600 百万円、翌年度繰越額は 42,770 百万円、不用額は 2,587 百万円である。

②特定港湾施設工事勘定

イ 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、7,059 百万円であって、その内訳は当初予算額 7,098 百万円、予算補正修正減少額 38 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 7,128 百万円であって、差引き 68 百万円増加した。

ロ 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 7,308 百万円であって、その内訳は歳出予算額 7,059 百万円（当初予算額 7,098 百万円、予算補正修正減少額 38 百万円）、前年度繰越額 248 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 5,910 百万円、翌年度繰越額は 1,106

百万円、不用額は 291 百万円である。

(6) 自動車検査登録特別会計

① 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、59,866 百万円であって、その内訳は当初予算額 59,907 百万円、予算補正修正減少額 40 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 63,251 百万円であって、差引き 3,385 百万円増加した。

② 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 48,594 百万円であって、その内訳は歳出予算額 47,369 百万円（当初予算額 47,410 百万円、予算補正修正減少額 40 百万円）、前年度繰越額 1,224 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 46,153 百万円、翌年度繰越額は 100 百万円、不用額は 2,340 百万円である。

(7) 都市開発資金融通特別会計

① 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、51,083 百万円であって、その内訳は当初予算額 50,842 百万円、予算補正追加額 241 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 69,996 百万円であって、差引き 18,912 百万円増加した。

② 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 57,773 百万円であって、その内訳は歳出予算額 51,083 百万円（当初予算額 50,842 百万円、予算補正追加額 241 百万円、予算補正修正減少額 0 百万円）、前年度繰越額 6,689 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 36,860 百万円、翌年度繰越額は 4,750 百万円、不用額は 16,162 百万円である。

(8) 空港整備特別会計

① 歳入

平成 18 年度における歳入予算額は、572,561 百万円であって、その内訳は当初予算額 572,167 百万円、予算補正追加額 507 百万円、予算補正修正減少額 113 百万円である。

この予算額に対し、収納済歳入額は 578,181 百万円であって、差引き 5,620 百万円増加した。

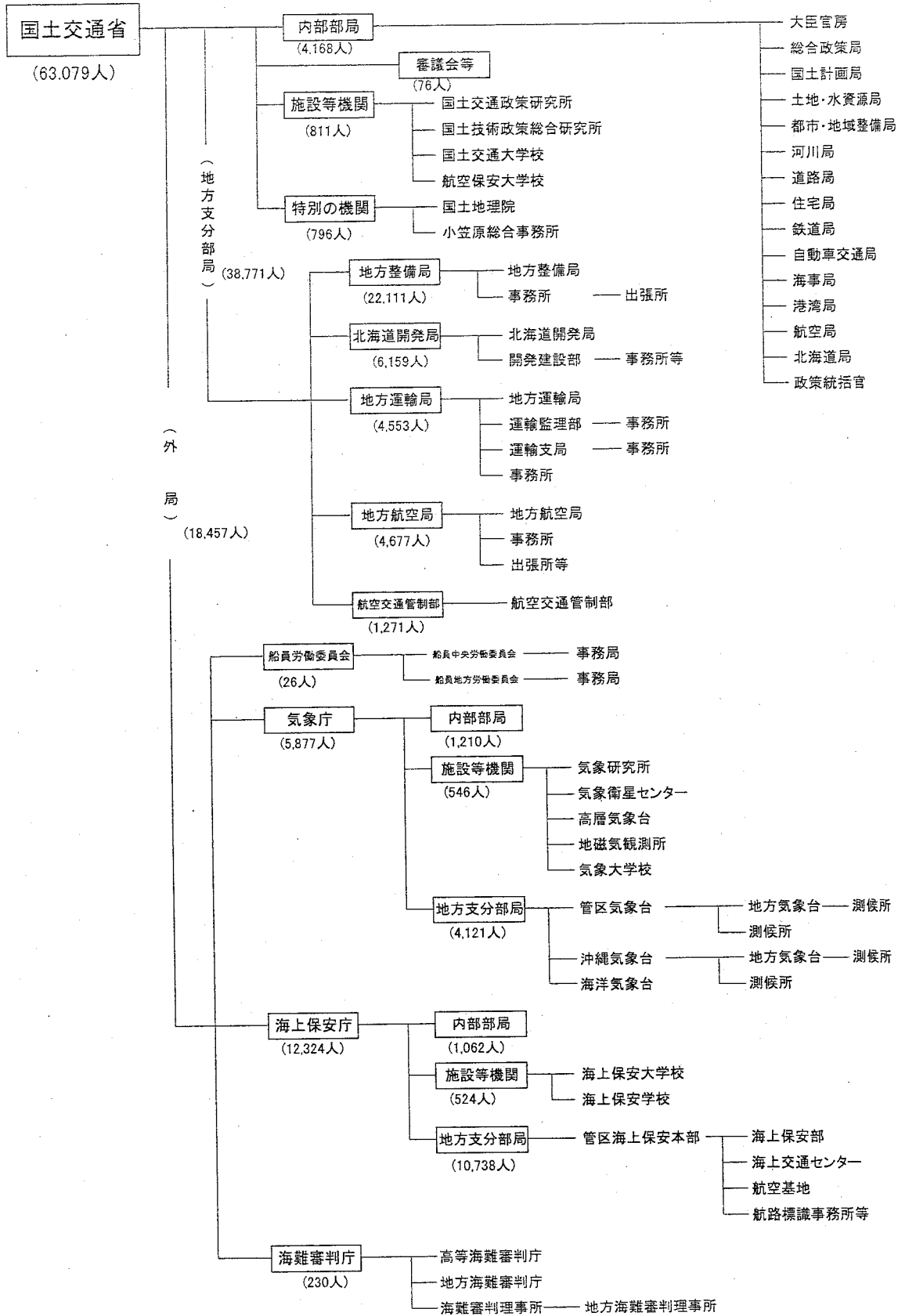
② 歳出

平成 18 年度における歳出予算現額は 648,225 百万円であって、その内訳は歳出予算額 572,561 百万円（当初予算額 572,167 百万円、予算補正追加額 507 百万円、予算補正修正減少額 113 百万円）、前年度繰越額 72,503 百万円、特別会計予算総則第 12 条第 6 項の規定による経費増額 3,161 百万円である。

この予算現額に対し、支出済歳出額は 463,844 百万円、翌年度繰越額は 166,779 百万円、不用額は 17,601 百万円である。

国土交通省の組織及び職員数(平成18年度末現在)

<組織図>



(注)平成18年度予算定員である。

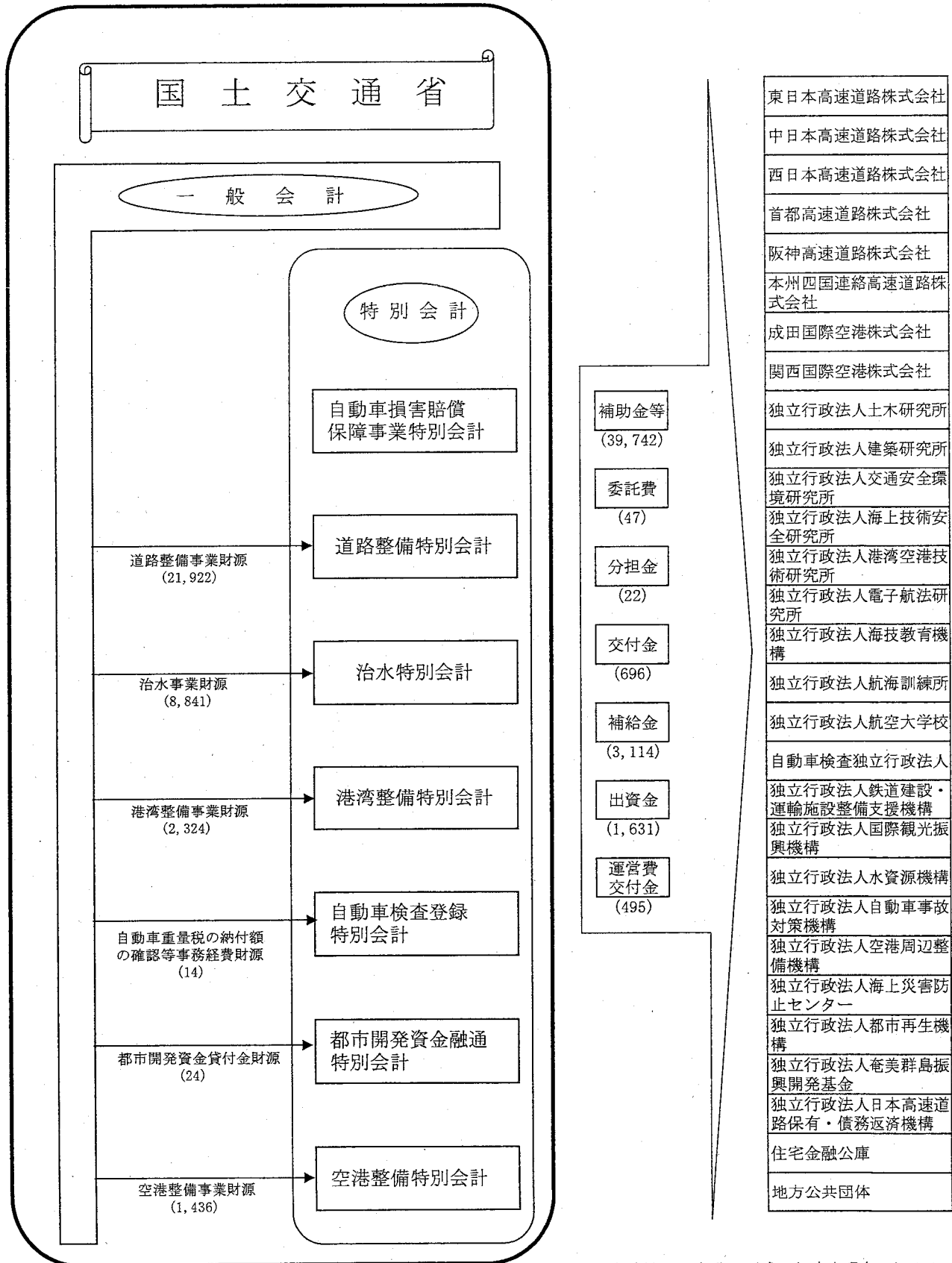
<職員数(会計別)>

一般会計	35,547人	港湾整備特別会計	2,037人
自動車損害賠償保障事業特別会計	90人	自動車検査登録特別会計	1,879人
道路整備特別会計	8,043人	空港整備特別会計	7,322人
治水特別会計	8,161人	合計	63,079人

(注)平成18年度予算定員である。

国土交通省における会計・特殊法人等への財政資金の流れ

(単位:億円)



(注)法人の名称は平成18年度末現在である。